

総額 869 億円

平成28年度
古河市の

よ さ ん

今年のおもな
予算について
わかりやすく
説明します



平成28年度 予算特集号

平成28年度 古河市予算について

平成28年度は、「第2次古河市総合計画」
「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に
沿ったまちづくりがスタートします。

総合計画の基本理念「華のある都市(まち)
古河」の実現に向け、第Ⅰ期基本計画の
市政宣言として「若者に選ばれるまち
づくり」を掲げ、特に「子育て支援の徹底」
「教育環境の充実」「雇用の拡大」に全力で
取り組んでまいります。

本予算特集号では、予算のしくみや平成28年度の主要な
実施事業、財政状況について市民の皆さまに分かりやすくお示し
いたします。



平成28年5月

古河市長 菅谷 憲一郎

もくじ

- 3ページ・・・平成28年度古河市の当初予算総額
「予算(よさん)」とは・・・
- 4ページ・・・平成28年度一般会計
- 6ページ・・・平成28年度会計別予算
- 7ページ・・・平成28年度古河市の主要な事業
- 16ページ・・・市民1人・1世帯あたりの予算額
- 17ページ・・・市の貯金
- 18ページ・・・市の借金
- 19ページ・・・財政の健全性
- 20ページ・・・予算を「家計」にたとえると？



「9歳桃香」
©2013古河市文化協会/K.Asano#261283

平成28年度 古河市の当初予算総額

869億4,720万円

(参考：平成27年度当初予算総額 858億7,971万円)

一般会計 503億5,000万円

特別会計 365億9,720万円

一般会計

歳入

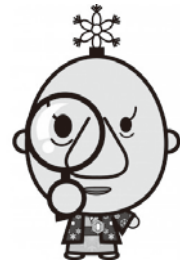
- 市税をはじめ地方消費税交付金、ふるさと納税寄附金および国からの地方交付税交付金の増収が見込まれることなどから増加しています。

歳出

- 小学校エアコン整備や体育館の改築工事の完了による投資的経費が減少するものの、生活保護費、障害福祉介護給付費の増加に伴う扶助費の増やふるさと納税返礼品など物件費の増により増加しています。

●「予算（よさん）」とは・・・

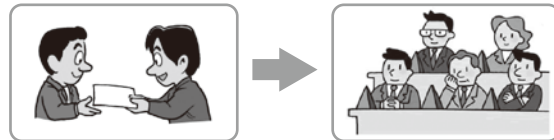
古河市の1年間の収入（歳入）と支出（歳出）の見積りのことです。1年間いくら収入が見込まれていて、どのような事業にいくらのお金が使われるのかを定めています。



「ゆきとのくん」
古河商工会議所
イメージキャラクター

●予算はどのように決められるのか・・・

皆さまの声や要望をもとに、さまざまな事業や施策が計画され、必要なお金の収入と支出を考慮した予算案を市長が作成します。そのあと議会へ提出された予算案は市民の代表である議会の承認を得て決められます。



●「会計」とは・・・

会計とは、それぞれ使い道の異なる財布のようなものです。大きく分けて3種類の会計（財布）があります。

一般会計：基本的な行政サービスの会計（例 教育、福祉、道路など）

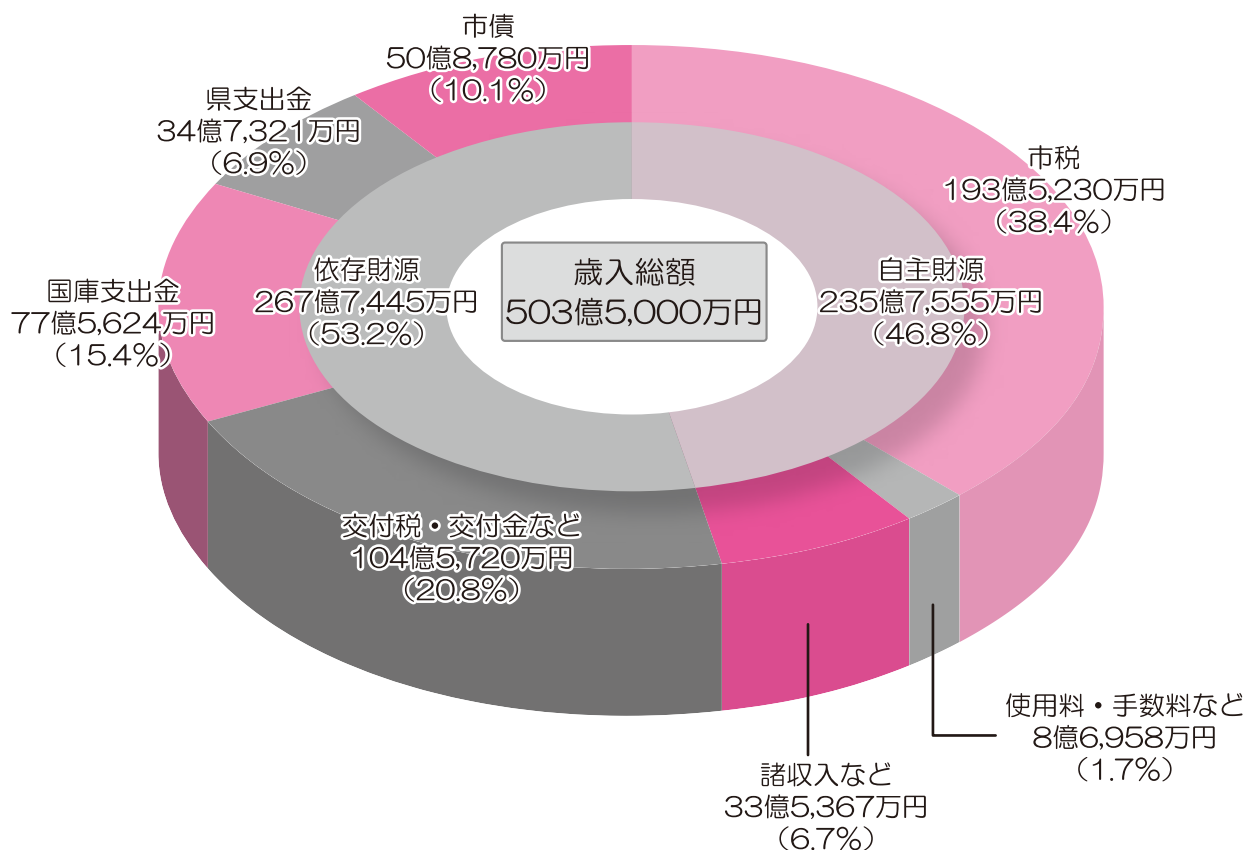
特別会計：特定の目的のために、特定の収入をそのサービスのために使う会計（例 国民健康保険、介護保険、下水道など）

企業会計：使用料などの収益で事業をまかなう会計（例 水道事業）

平成28年度 一般会計

歳入 総額 503億5,000万円

■平成28年度 古河市歳入（一般会計）の内訳



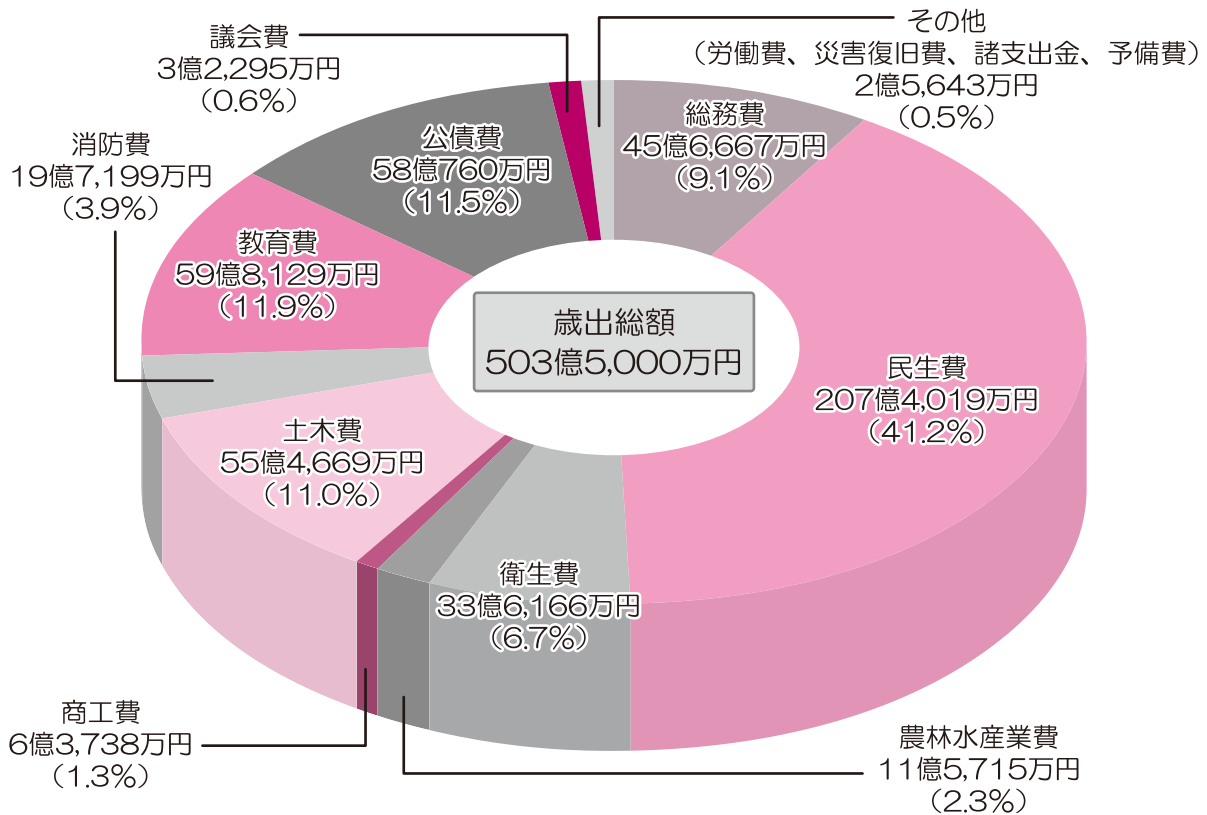
- 歳入には市税をはじめ、国や県から配分されるお金、借入金（市債）などさまざまなものがあります。
- 古河市が自主的に収入するお金（市税、諸収入など）を「自主財源」といい、また国や県に依存して収入するお金（交付税、国庫支出金など）を「依存財源」といいます。

■市税の主な内訳

税 目	平成28年度予算	平成27年度予算	増減率 (%)
個人市民税	70億8,600万円	70億6,600万円	+0.3%
法人市民税	17億 500万円	18億3,500万円	△7.1%
固定資産税	79億8,400万円	78億1,700万円	+2.1%
軽自動車税	3億3,000万円	2億8,500万円	+15.8%
たばこ税	11億8,800万円	11億8,400万円	+0.3%
都市計画税	10億5,900万円	10億2,200万円	+3.6%

歳出 総額 503億5,000万円

■平成28年度 古河市歳出（一般会計）の内訳



●歳出は、それぞれの経費の目的ごとに「議会費」「総務費」「民生費」など、全部で14種類に分けられています。

■主な目的別経費の内訳

	平成28年度予算	平成27年度予算	増減率 (%)
民生費	207億4,019万円	198億6,044万円	+4.4%
高齢福祉費	17億9,655万円	17億6,066万円	+2.0%
児童福祉費	77億1,989万円	77億6,076万円	△0.5%
生活保護費	37億7,823万円	35億7,428万円	+5.7%
土木費	55億4,669万円	51億5,456万円	+7.6%
土木管理費	4億7,864万円	4億4,507万円	+7.5%
道路橋りょう費	16億9,524万円	14億9,399万円	+13.5%
都市計画費	32億1,486万円	30億5,101万円	+5.4%
教育費	59億8,129万円	73億 611万円	△18.1%
小学校費	8億7,647万円	25億5,463万円	△65.7%
中学校費	7億8,018万円	9億4,458万円	△17.4%
社会教育費	13億8,671万円	12億1,905万円	+13.8%
保健体育費	10億8,973万円	7億9,496万円	+37.1%
学校給食費	10億4,572万円	10億8,790万円	△3.9%

平成28年度会計別予算

	平成28年度予算	平成27年度予算	比較	増減率(%)
一般会計	503億5,000万円	498億3,000万円	5億2,000万円	+1.0

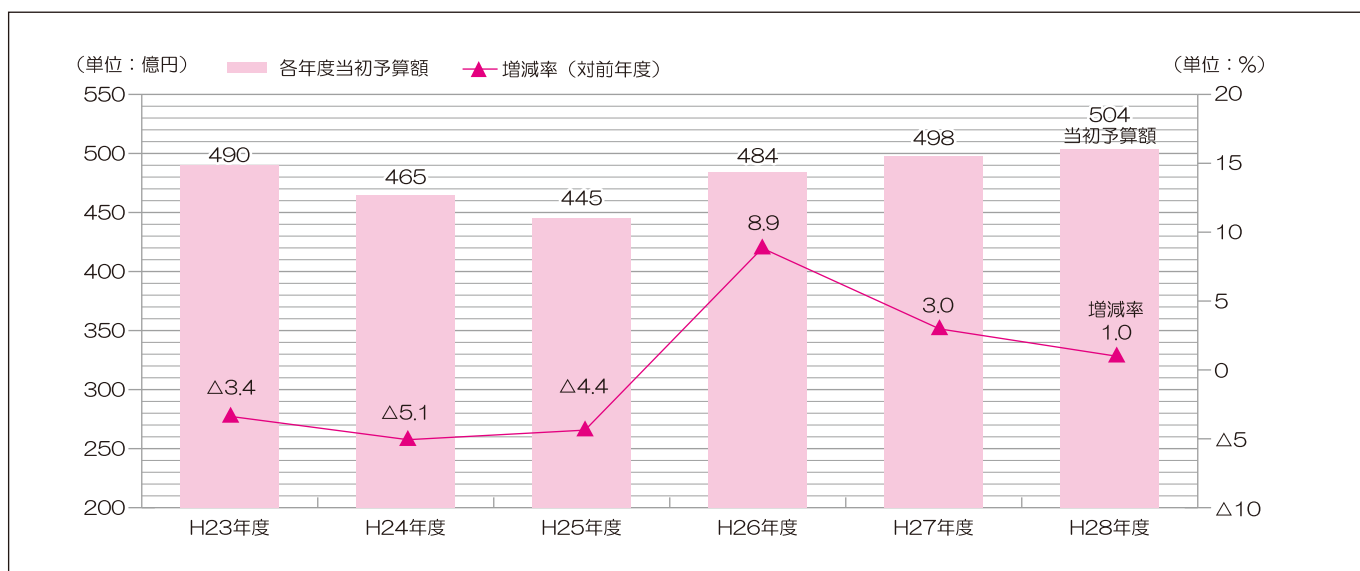
◇その他の会計

会計名	平成28年度予算	平成27年度予算	比較	増減率(%)
国民健康保険(事業勘定)	191億4,880万円	192億3,600万円	△8,720万円	△0.5
国民健康保険(直診勘定)	6,580万円	6,850万円	△270万円	△3.9
古河福祉の森診療所	1億7,820万円	1億5,940万円	+1,880万円	+11.8
後期高齢者医療	11億3,720万円	11億3,120万円	+600万円	+0.5
介護保険(保険事業勘定)	95億8,500万円	95億 300万円	+8,200万円	+0.9
介護保険(介護サービス事業勘定)	4,160万円	4,950万円	△790万円	△16.0
公共下水道事業	43億6,600万円	39億6,700万円	+3億9,900万円	+10.1
農業集落排水事業	6億 560万円	6億6,900万円	△6,340万円	△9.5
ゴルフ場事業	9,100万円	9,101万円		0.0
古河駅東部土地区画整理事業	8億2,830万円	6億8,310万円	+1億4,520万円	+21.3
片田南西部土地区画整理事業	3億5,570万円	2億9,580万円	+5,990万円	+20.3
公共用地先行取得	1億9,400万円	1億9,620万円	△220万円	△1.1
特別会計 合計	365億9,720万円	360億4,971万円	+5億4,750万円	+1.5
水道事業会計	48億4,407万円	40億3,711万円	+8億 696万円	+20.0
合計	414億4,127万円	400億8,682万円	+13億5,446万円	+3.4

※特定の歳入をもって特定の事業を行う場合、一般会計から切り離して独立の会計を設けて経理を行うのが特別会計です。

※水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計になります。

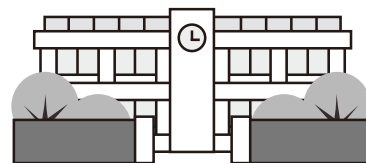
一般会計予算の推移



平成28年度古河市の主要な事業 一覧

教育文化〔人が育ち文化の息づく古河をつくる〕

- 古河塾による学習環境の提供
- 学習環境等の向上
- 小学校ICT機器の活用
- 中央運動公園整備(サブアリーナ建設) 等



健康福祉〔互いに支え合う古河をつくる〕

- 駅前子育て広場の充実
- 子育て拠点施設の整備
- ひとり親世帯への負担軽減
- 20歳までの医療費助成の継続 等



生活環境〔安全で快適な古河をつくる〕

- 備蓄倉庫の設置
- 災害情報伝達手段の強化
- 消防団員の確保
- 防犯カメラの設置 等



産業労働〔活力と賑わいのある古河をつくる〕

- 若者・子育て世帯の定住促進
- 商工業団体への支援
- 企業誘致の推進
- 地域農業担い手の育成 等



都市基盤〔魅力的で利便性の高い古河をつくる〕

- 市内循環バス運行
- 仁連地区開発の促進
- 三和メディカルセンター跡地の整備
- 道路の新設改良 等



市民協働〔地域みんなで古河をつくる〕

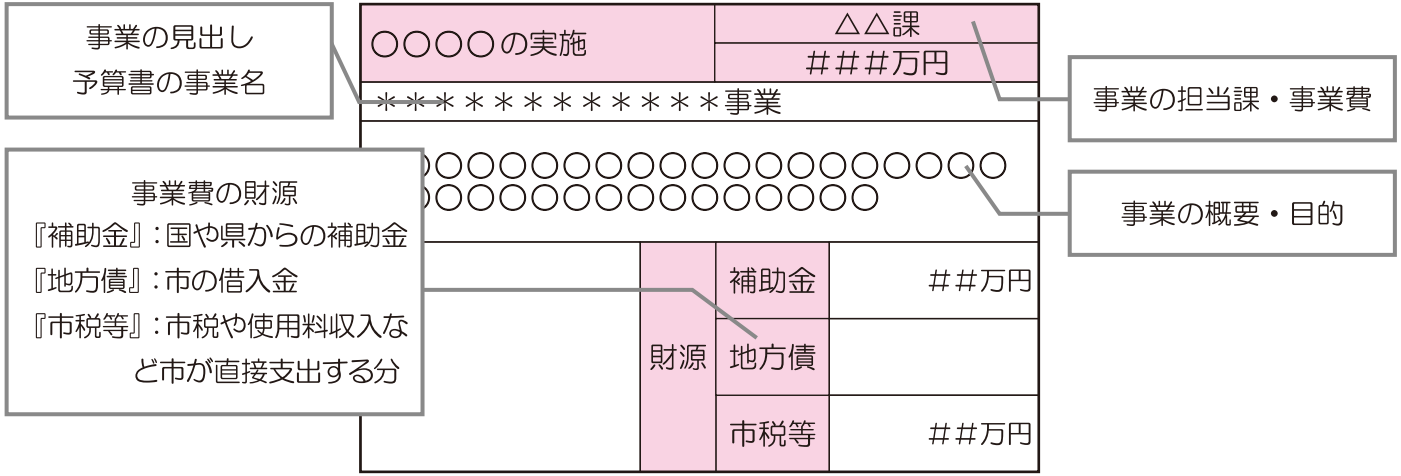
行財政〔古河づくりを支える行政経営〕

- 窓口業務時間延長の実施
- 地域づくり活動の支援
- ふるさと納税返礼品の充実
- 広報・お知らせ版の充実 等





平成28年度古河市の主要な事業


- 平成28年度に古河市が実施する事業のなかで、主要なものをご紹介します。
- 事業の概要や事業費、財源を記載しています。





教育文化 まち ~人が育ち文化の息づく古河をつくる~


古河塾による学習環境の提供	指導課	4,058万円	
古河塾推進事業			
市内全小中学校において、児童生徒を対象に放課後学習支援の場を提供します（小学校1時間、中学校1時間30分）。			
	財源	補助金	1,164万円
		地方債	
		市税等	2,894万円


学習環境等の向上	教育環境整備課	3億8,749万円	
小学校環境整備事業・中学校環境整備事業			
中学校の教室の空調設備設置や小中学校のトイレ洋式化などを順次行い、児童生徒の学校生活の環境改善を進めます。			
	財源	補助金	8,750万円
		地方債	2億410万円
		市税等	9,589万円


小学校ICT機器の活用 <small>〔拡充〕</small>	教育環境整備課	7,595万円	
小学校教育ICT整備事業			
ICT機器（タブレット端末）を増設し、デジタル教科書等を活用した分かりやすく効果的な授業を展開します。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	7,595万円

学びの広場サポーターの拡充 <small>〔拡充〕</small>	指導課	307万円	
学校教育支援事業			
算数・数学の学習意欲の向上と学習内容の定着を図るため、夏季休業中等において「学びの広場」という学習会を実施します。			
	財源	補助金	307万円
		地方債	
		市税等	

中央運動公園の整備（サブアリーナ建設） 〔新規〕	スポーツ振興課		
	2億7,686万円		
中央運動公園整備事業			
平成31年度の茨城国体の開催に向けて、中央運動公園にサブアリーナを建設します。今年度は実施設計、本体工事を実施します。			
	財源	補助金	
		地方債	2億5,650万円
		市税等	2,036万円

古河サッカー場の改修 〔新規〕	スポーツ振興課		
	1,500万円		
古河サッカー場改修事業			
老朽化した古河サッカー場の改修を行うため、平成28年度は実施設計を行います。			
	財源	補助金	
		地方債	1,420万円
		市税等	80万円

（仮称）市民交流センターの建設	施設管理課		
	2億1,771万円		
青少年ホーム代替施設建設事業			
平成29年4月開館をめざして、老朽化した青少年ホームの代替施設として、（仮称）市民交流センターを建設します。			
	財源	補助金	1,000万円
		地方債	1億9,720万円
		市税等	1,051万円

（仮称）三和地域交流センターの建設	施設管理課		
	1億7,675万円		
（仮称）三和地域交流センター建設事業			
平成30年3月の完成をめざして、老朽化した三和公民館を解体し、新たに（仮称）三和地域交流センターとして建設します。			
	財源	補助金	2,400万円
		地方債	1億3,210万円
		市税等	2,065万円

注目事業ピックアップ

時代を先取りした教育への取り組み

～ 児童生徒の学力向上・意欲向上を目指して ～

市内全小学校において、平成27年度にタブレット端末を各校に配置し、ICTを取り入れた授業を展開しています。デジタル教科書を活用した学習や、プレゼンテーションの資料づくりなど、児童の学習意欲や能力の向上に役立てています。今年度はさらに台数を増やします。



▲古河塾で児童生徒の学習習慣を定着させ、また学力の向上が期待できます



▲新しい授業のかたちに児童も楽しく取り組んでいます

また、市内全小中学校において、全児童生徒を対象に放課後学習支援の場として「古河塾」を開設しています。古河塾では小学校1時間、中学校1時間30分の学習時間の中で、整備されたタブレットを活用し、ネット配信された問題を解くなどを行います。また各校に配置された2～3人のサポーターが支援にあたっています。

健康福祉
まち
～互いに支え合う古河をつくる～

駅前子育て広場の充実 〔新規・拡充〕	子ども入園課	
	3,084万円	
駅前地域子育て支援センター事業		
平成27年7月に開設した駅前子育て広場を拡充し、児童の遊び場提供、乳幼児の一時預かり、送迎保育などのサービスを実施します。		
財源	補助金	485万円
	地方債	
	市税等	2,599万円

子育て拠点施設の整備	子ども入園課	
	1億7,587万円	
子育て拠点施設整備事業		
古河赤十字病院跡地を「子育て支援の拠点」と位置付け、老朽化した上辺見保育所の移転・建て替えのため建設工事を実施します。		
財源	補助金	
	地方債	1億6,000万円
	市税等	1,587万円

小規模保育所の開設 〔新規〕	子ども入園課	
	630万円	
小規模保育整備事業		
待機児童解消のため、0～2歳児を対象とした小規模保育所を古河地区に設置します。		
財源	補助金	
	地方債	
	市税等	630万円

児童クラブ施設の充実 〔拡充〕	子ども入園課	
	9,657万円	
児童クラブ施設整備事業		
小学校の空き教室等を児童クラブ室として整備し、放課後児童の健全育成を推進します。今年度は古河一小、上辺見小、名崎小を整備します。		
財源	補助金	3,231万円
	地方債	
	市税等	6,426万円

注目事業ピックアップ

駅前子育て広場の充実


～ 便利で利用しやすい駅前の子育てスペース ～


平成27年7月に開設した駅前子育て広場を拡充し、以下の事業を実施します。


- **駅前ヤンチャ森事業**
就学前児童とその親などを対象に遊びと交流の場を提供します。
- **地域子育て支援センター事業**
親同士の交流や、育児の悩み相談、講習会の開催などを行います。
- **一時預かり事業**
一時的に家庭での保育が困難となった場合に最大3時間までの保育を行います。
- **送迎保育ステーション事業**
駅を通勤に利用する保護者のために保育ステーションと公立保育所間の送迎を行います。




◀子どもが遊べる場であるとともに、保護者同士のコミュニケーションの場にもなります

ひとり親世帯への負担軽減 減 【新規】	子ども入園 学校給食課 3,700万円		
放課後児童健全育成事業 センター方式給食事業 ほかに ひとり親世帯への負担軽減を図るため、児童クラブの保護者負担金および小学校給食費の全額免除を実施します（対象の制限等あり）。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	3,700万円

20歳までの医療費助成の 継続	国保年金課 1億4,398万円		
医療費助成（市単）事業 古河市独自の医療費助成制度（マル古）で20歳までの学生に限り、医療費の一部助成（所得制限あり）を継続します。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	1億4,398万円

（仮称）福祉の森公園の 整備 【新規】	健康づくり課 500万円		
福祉の森会館周辺整備事業 古河福祉の森会館周辺の自然林を利用して、市民の憩いの場を提供します。今年度は基本構想を策定します。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	500万円

三和地区に地域包括支援 センターを設置 【拡充】	高齢福祉課 3,136万円		
介護保険特別事業（地域包括支援センター事業費） 高齢者の相談窓口である高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）を新たに三和地区に設置し、利便性とサービスの向上を図ります。			
	財源	補助金	1,924万円
		地方債	
		市税等	1,212万円

注目事業ピックアップ

ひとり親世帯への負担軽減

～ 古河市独自の新たな子育て支援強化策 ～

子育てと生計の担い手の役割を一人で担っているひとり親世帯の負担軽減を図るため、以下の負担軽減強化を実施します。

【対象】


年収約360万円（市民税所得割課税額77,100円）未満のひとり親世帯


【実施内容】


- ・児童クラブ負担金を無償化
1カ月あたり5,000円の負担金を0円に！
- ・小学校給食費を無償化
1食あたり210円の給食費を0円に！




まち
生活環境 ~安全で快適な古河をつくる~

備蓄倉庫の設置 [新規]	防災交通課		
	561万円		
避難所整備事業			
災害時における避難者に対応するため、市内各地の指定避難所3カ所に備蓄倉庫を設置します。			
	財源	補助金	
		地方債	550万円
		市税等	11万円

災害情報伝達手段の強化 [新規・拡充]	防災交通課		
	8,709万円		
防災行政無線等維持管理事業 災害対策事業			
デジタル防災行政無線の15基増設をはじめ、災害時における避難情報等の伝達手段を強化するための整備を行います。			
	財源	補助金	
		地方債	8,420万円
		市税等	289万円

消防団員の確保 [新規・拡充]	防災交通課		
	6,403万円		
消防団活動事業			
消防団員確保の取り組みとして、消防団員の家族に対し家族功労報償金を支給します。また、災害出場時における費用弁償を増額します。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	6,403万円

防犯カメラの設置	防災交通課		
	1,053万円		
防犯対策事業			
5カ年（H27～H31）で防犯カメラ200基程度を整備する取り組みとして、今年度は防犯上効果的な場所に30基設置します。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	1,053万円

注目事業ピックアップ

災害に備えた防災対策

～平成27年9月の豪雨災害を教訓に～


昨年の関東・東北豪雨により古河市内も各地で洪水被害が発生しました。今年度は災害時に備えた防災への取り組みを加速させるため、以下の事業を実施します。


- デジタル防災行政無線の増設**
 昨年度までに親局の整備および25基の子局を整備しました。今年度はさらに15基の子局を増設します。
- 20地区長への防災ラジオの提供**
 災害時の地域への迅速な情報伝達の方法として、各地区の地区長へ防災ラジオを提供し、避難活動などをスムーズに進めます。
- 災害用備蓄倉庫の設置**
 年次計画により、市内各地に防災品の備蓄倉庫を整備します。





▲災害の教訓が明日の防災へとつながります

まち
産業労働 ～活力と賑わいのある古河をつくる～

若者・子育て世帯の定住促進	商工政策課	8,768万円	
〔拡充〕			
若者・子育て世帯定住促進奨励事業			
企業誘致等にもなう若者・子育て世帯の転入者に対し、奨励金(交付要件あり、最大150万円)を交付します。			
	財源	補助金	4,378万円
		地方債	
		市税等	4,390万円

商工業団体への支援	商工政策課	3,770万円	
商工業団体等助成事業			
商工業団体や、「古河ほこてんマルシェ」「古河コン」などの地域振興イベントへの補助金の交付を行います。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	3,770万円

企業誘致の推進	商工政策課	1億2,141万円	
企業誘致推進事業 企業立地推進事業			
産業の振興と雇用機会の拡大を図るため、指定地域に工場を立地した企業に奨励金を交付し、企業進出の支援・誘致に努めます。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	1億2,141万円

地域農業担い手の育成	農政課	402万円	
地域農業担い手育成事業			
新規就農者等に対して、就農意欲の喚起、農業経営の安定・定着を図るため、研修費の助成や給付を行います。			
	財源	補助金	225万円
		地方債	
		市税等	177万円

注目事業ピックアップ

若者・子育て世帯の定住促進奨励金の交付

～ 古河市への定住促進の加速へ ～

昨年度から、古河市への定住を促進するために、古河市に転入し住宅を取得した若者・子育て世帯に対し、最大100万円の奨励金を交付する取り組みを始めました。今年度は、最大150万円に奨励制度を拡充します。




奨励金の概要


- ①古河市に転入し、新築住宅を取得すると **40万円**
 - ②その新築住宅を市内の業者で建設するとさらに **10万円**
 - ③古河駅東部土地区画整理事業地内の保留地を購入し、そこに新築するとさらに **100万円**
- 合計 **最大150万円!**


◀平成27年度は電車の中吊り広告などで市内外の人に周知を行いました


都市基盤

まち
～魅力的で利便性の高い古河をつくる～

市内循環バス運行 [拡充]		総務課	
		9,511万円	
循環バス運行事業			
ぐるりん号に乗車する障がい者およびその介助者1人の料金を無料にします。また古河駅東口を起点とする新たなコースを整備します。			
	財源	補助金	
		地方債	3,990万円
		市税等	5,521万円

仁連地区開発の促進 [新規]		都市計画課	
		6,541万円	
新産業用地開発事業			
市内への企業等の立地促進を図るため、仁連地区における新たな受け皿となる開発地の調査・設計を行います。			
	財源	補助金	
		地方債	
		市税等	6,541万円

三和メディカルセンター跡地の整備 [新規]		都市計画課	
		3,300万円	
三和地区公園整備事業			
三和メディカルセンターを解体し、跡地に公園を整備します。			
	財源	補助金	
		地方債	3,130万円
		市税等	170万円

道路の新設改良 [拡充]		道路整備課	
		8億9,997万円	
道路新設改良事業			
地域住民の利便性と安全性の向上を図るため、未改良の生活道路等の整備を行います。			
	財源	補助金	1億3,850万円
		地方債	7億2,080万円
		市税等	4,067万円

注目事業ピックアップ

市内循環バスの運行

～運行コースの拡充によりもっと便利に～

平成10年度から運行している「ぐるりん号」は、現在古河地区を中心に東コース、西コース、南コースの3路線で運行しており、年間で延べ10万人以上の方が利用しています。

今年度からは障がい者および同乗する介助者1人の料金を無料にします。


また、定住促進を図る目的で、新たに小型バスを購入し、古河駅東口を起点とした新たなコースで循環バスを運行します。





▲地域交通の活性化により
住みよいまちに！


市民協働
まち
～地域みんなで古河をつくる～

行財政
まち
～古河づくりを支える行政経営～

窓口業務時間延長の実施 【新規】	市民総合窓口課	
—	—	
サービス向上のため、5月から総和庁舎の窓口業務時間を午後7時まで延長します。（毎週木曜日に実施。※年末年始・祝日等は除きます。）		
	財源	補助金
		地方債
		市税等

地域づくり活動の支援	市民協働課	
	1億4,947万円	
自治組織運営事業		
市民が主体となった住民自治のまちづくりの推進に向けて、自治組織に対する財政的支援を行います。		
	財源	補助金
		地方債
		市税等

ふるさと納税返礼品の充実 【拡充】	企画課		
	2億551万円		
ふるさと納税推進事業			
「まくらがの里ふるさと古河応援寄附」の返礼品をさらに充実していきます。今年度の寄附額は、3億円を見込んでいます。			
	財源	寄附金	1億5,000万円
		市税等	5,551万円

広報・お知らせ版の充実 【拡充】	秘書広報課	
	2,617万円	
広報・お知らせ版発行事業		
広報紙の内容の充実を図ります。また、カラーページを増やし、より見やすく、読みやすくなるように工夫していきます。		
	財源	補助金
		地方債
		市税等

注目事業ピックアップ

ふるさと納税返礼品の充実

～ ふるさと納税の拡大&産業振興 ～

平成27年9月より返礼品を拡充したことで、「まくらがの里ふるさと古河応援寄附」も1億円を超えました。古河市の収入の増加という面だけでなく、地元特産品のPRと、返礼品を取り扱う市内の事業者への経済効果も生まれており、さらなる産業振興も期待できます。

平成27年9月～平成28年3月までに寄せられた寄附は **約1億6,000万円!**



▲平成27年9月に拡充したふるさと納税返礼品は現在90品目以上

市民1人・1世帯あたりの 予算額

●住基人口 144,546人

●世帯数 58,827戸（平成28年2月1日現在）

●平成28年度の新潟市の歳出を人口、世帯数で割ることにより、1人あたりもしくは1世帯あたりの歳出予算額が分かります。

<p>予算総額</p> <p>348,332円（1人） 855,900円（1世帯）</p>	<p> 議会費</p> <p>2,234円 5,490円</p> <p>議会活動のための経費</p>	<p> 総務費</p> <p>31,593円 77,629円</p> <p>住民登録や、課税・納税・広報など 総務部門のための経費</p>	<p> 民生費</p> <p>143,485円 352,562円</p> <p>児童福祉や、高齢者福祉、障がい福祉、 生活保護など福祉のための経費</p>
<p> 衛生費</p> <p>23,257円 57,145円</p> <p>健康診断・予防接種などの保健衛生や ごみの収集・処理などのための経費</p>	<p> 農林水産業費</p> <p>8,005円 19,670円</p> <p>農業振興・畜産振興や、土地改良事業 などのための経費</p>	<p> 商工費</p> <p>4,410円 10,835円</p> <p>商工業の振興や、各種イベントなど 観光振興のための経費</p>	<p> 土木費</p> <p>38,373円 94,288円</p> <p>道路や河川、公園などの整備や 維持管理のための経費</p>
<p> 消防費</p> <p>13,643円 33,522円</p> <p>消防や救急活動、防災のための経費</p>	<p> 教育費</p> <p>41,380円 101,676円</p> <p>小中学校の学校教育や、生涯学習の推進 公民館、スポーツ施設などの運営の ための経費</p>	<p> 公債費</p> <p>40,178円 98,723円</p> <p>市の借入金の返済のための経費</p>	<p> その他</p> <p>1,774円 4,359円</p> <p>災害復旧費・労働費・諸支出金・ 予備費</p>

合併特例債の活用状況

●合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのための財源として借り入れをすることができる地方債（借入金）で、事業費の95%まで借り入れることができます。後年度に発生する返済金（償還金）の70%が、普通交付税によって補填される仕組みとなっていることから、地方によっては極めて有利な財政措置となっています。

平成28年度合併特例債活用額

◇幹線道路照明施設整備事業	220万円	◇新4号国道アクセス道路整備事業	3,360万円
◇循環バス（ぐるりん号）購入事業	3,990万円	◇桜町上辺見線南町工区Ⅰ道路整備事業	7,300万円
◇健康の駐車場整備事業	9,390万円	◇仁連江口線道路整備事業	2,530万円
◇上辺見保育所整備事業	1億6,000万円	◇下辺見地区幹線道路新設改良事業	1,770万円
◇斎場環境整備事業	3,130万円	◇古河サッカー場改修（実施計画）事業	1,420万円
◇道路新設改良事業	7億1,770万円	◇中央運動公園整備事業	3億 990万円
◇前林地区女沼川橋りょう改築負担金事業	4,870万円	◇街角美術館空調設備整備事業	2,140万円
◇筑西幹線道路整備事業	1億 240万円	◇歴史博物館空調設備整備事業	1,100万円
◇三和メディカルセンター跡地公園整備事業	7,090万円	◇（仮称）市民交流センター建設事業	1億9,720万円
◇仁連地区都市再生整備事業	1億4,820万円		
		合 計	21億1,850万円

市の貯金

平成27年度末（見込み）

72億7,946万円

（市民1人あたり 約50,361円）

※平成28年2月1日現在の古河市の総人口
144,546人で計算しています。

年 度	市民1人あたりの基金残高
平成23年度末	35,051円
平成24年度末	40,828円
平成25年度末	46,472円
平成26年度末	47,922円
平成27年度末（見込み）	50,361円

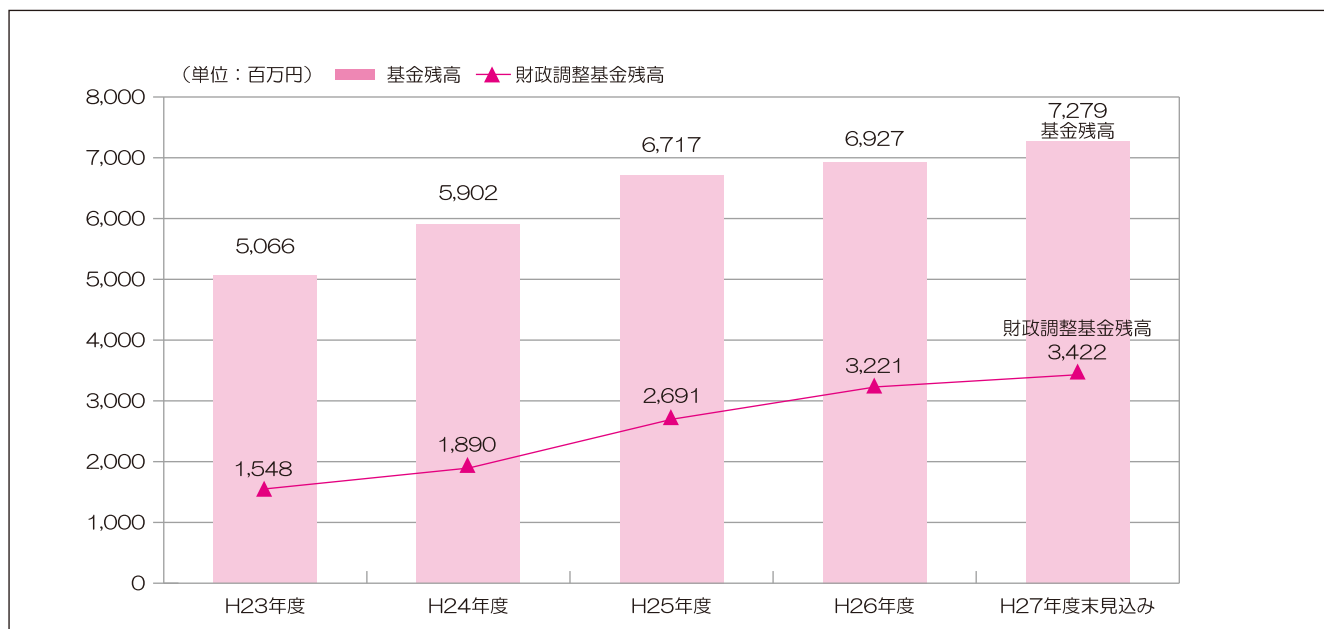
■各基金の残高

基金名	平成27年度末見込み
財政調整基金	34億2,193万円
減債基金	8億1,330万円
公共施設整備基金	2億9,330万円
ふるさと振興基金	8,560万円
新駅設置準備基金	3,953万円
教育振興基金	965万円
地域福祉基金	3,293万円
自治振興基金	6億5,473万円
合併特例振興基金	12億 658万円
企業立地調整基金	5億2,388万円
その他	1億9,803万円
合 計	72億7,946万円



「かぼちゃ王子・こがぼっちゃん」
古河市商工会
まちおこしイメージキャラクター

■基金残高の推移



市の借金

平成28年度末（見込み）

946億9,286万円

（市民1人あたり 約655,000円）

※平成28年2月1日現在の古河市の総人口
144,546人で計算しています。

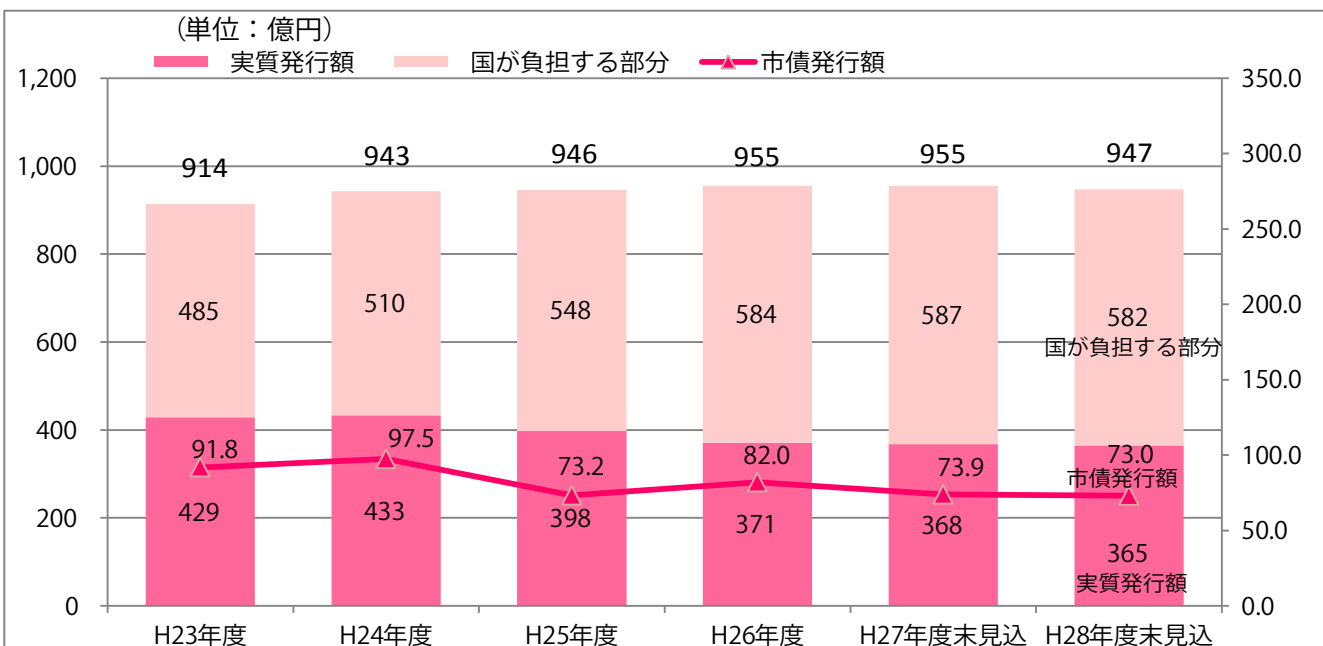
なぜ市が借金をするの？

- 市が借り入れるお金（市債）は、学校や道路などの公共施設の建設・改修にあたり、一時期に多額のお金が必要になる場合に活用します。
- また、公共施設は長期間にわたって将来の市民も利用するため、将来その施設を利用する人にも、公平にその建設・改修費用を負担してもらうという観点からも活用されるものです。

■会計別市債残高

会計区分		平成26年度末	平成27年度末見込み	平成28年度末見込み
一般会計		618億4,592万円	633億7,774万円	633億1,549万円
特別会計	公共下水道事業	178億5,772万円	174億9,943万円	172億3,356万円
	農業集落排水事業	49億3,434万円	47億7,915万円	45億4,277万円
	古河駅東部土地区画整理事業	18億6,758万円	17億7,724万円	19億2,563万円
	片田南西部土地区画整理事業	7億4,812万円	6億7,480万円	4億3,036万円
	公共用地先行取得	8億8,867万円	7億1,280万円	5億1,389万円
水道事業会計		73億2,644万円	67億4,407万円	67億3,116万円
合 計		954億6,879万円	955億1,371万円	946億9,286万円

■市債残高の推移



財政の健全性

1. 実質公債費比率

実質公債費比率とは

実質的な公債費（市債の返済）が、地方公共団体の財政に及ぼす負担を表す指標です。3カ年平均の数値で表します。

25%以上

注意

早期健全化団体

30%以上

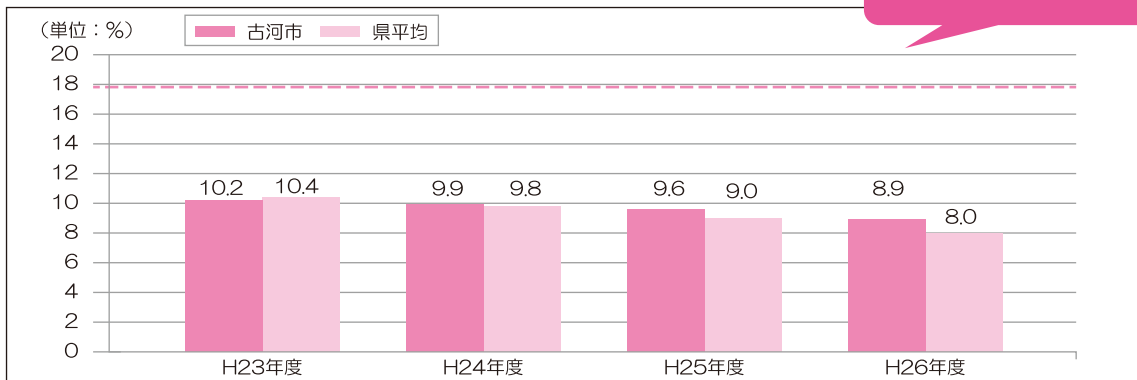
危険

財政再生団体

- 古河市は「8.9%」であり、早期健全化団体とされる「25%（注意）」を大きく下回っています。
- 市債発行に際しては、県知事の「同意」から「許可」に変更となる基準である「18%未満」を維持するよう努めます。

■実質公債費比率の推移

18%未満を維持



2. 将来負担比率

将来負担比率とは

市などの自治体が、将来支払う可能性のある負債の一般会計等に対する比率です。

350%以上

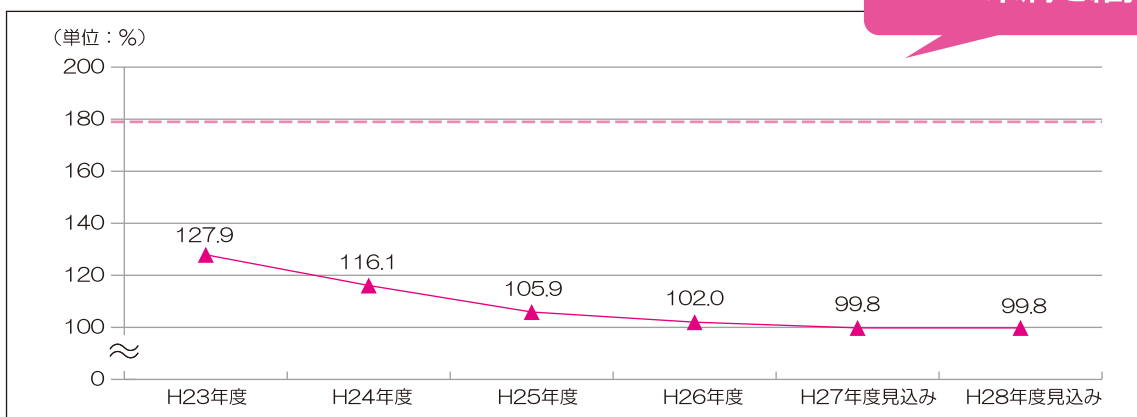
注意

早期健全化団体

- 古河市は、平成27年度末（見込み）において「99.8%」であり、早期健全化団体とされる「350%（注意）」を大きく下回っています。
- 第3次古河市行政改革大綱の目標値である「早期健全化ライン350%の約2分の1（180%未満）」を維持することとしています。

■将来負担比率の推移（試算）

180%未満を維持



予算を「家計」にたとえると？

一般会計の当初予算（503.5億円）を年間の収入が500万円の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。諸手当のうち、地方交付税はどの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。



「9歳桃香」
©2013古河市文化協会/K.Asano#261283

こが家・1カ月の家計簿

《収入》	
給与	38万9,400円
・うち基本給 (市税などの自主財源)	(18万6,000円)
・うち諸手当 (地方交付税、国・県支出金など)	(20万3,400円)
銀行からの借入 (市債)	2万5,500円
貸したお金の返済金 (貸付金元利収入など)	1,100円
計	41万6,000円

《支出》	
家族の医療費 (扶助費)	10万5,600円
ローンの返済 (公債費)	4万8,000円
食費 (人件費)	6万 100円
光熱費や通信費など (物件費など)	5万8,500円
家・車・家電製品等の修理、買換え (維持補修費、普通建設事業費)	4万2,700円
家族への仕送り (繰出金、補助費)	9万9,100円
貯金や友人などに貸すお金 (積立金、貸付金)	2,000円
計	41万6,000円



家族の医療費（生活保護費などの扶助費）、ローンの返済（公債費）、食費（人件費）の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。この比率が高いと、家計にあまり余裕がないことになります。ちなみに古河市の歳出総額に占める義務的経費の割合は50.6%です。